

クローバー10
携帯型拡大読書器
取扱説明書

Rev G (202203)

目次

はじめに	6
安全上のご注意	7
安全にお使いいただくために	11
液晶モニターに関するご注意	13
各部の名称	14
付属品	17
充電の方法	18
電源ランプの表示	20
スタンド.....	21
操作方法	24

電源ボタン	24
電子音のオン/オフ	25
電子音の種類	26
カメラモードの切替.....	26
拡大と縮小.....	27
画像のスクロール	29
焦点の調節	31
カラーモード.....	31
コントラスト.....	35
明るさ.....	38
ライト.....	39
焦点固定ボタン	42

画像の静止	43
画像の保存	45
画像の再生	47
画像の削除	49
ラインとマスク.....	53
位置表示	56
メモリ機能.....	58
周波数(50Hz/60Hz)切替機能.....	58
省電力機能	59
初期設定へ戻す	61
本体のリセット	62

故障かな？と思ったら 63

製品仕様	66
お客様相談室	67

はじめに

クローバー10をお買い上げいただき、ありがとうございます。

クローバー10は、10インチの大型ワイドLCDモニターとフルHD(高細密)カメラを装備した、非常に軽い携帯型拡大読書器です。約2~32倍までの連続ズームが可能で、様々な拡大レベル、カラーモードで、鮮明な画像をお楽しみいただけます。

デュアル(前面と背面)カメラシステム内蔵で、3つのカメラモードの選択ができます。本や新聞を読むための**読書モード**、ポスターや黒板を見るための**望遠モード**、おしゃれのための**ミラーモード**があります。

一般的な拡大/縮小やカラーモード切替の他に、読書用ライン(横ラインと縦ライン)やマスク(横マスクと縦マスク)、画像の静止や保存、位置表示、スクロール機能などもあり、快適に読書ができます。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために…

必ずお守り下さい

この「取扱説明書」の表示では、本装置を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよくご理解いただいでから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。







注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	<p>名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：装置を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：分解禁止 意味：装置を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：電源プラグをコンセントから抜く 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。</p>

 警告	
	<p>万一、装置から煙がでていたり、異臭や異音があるなど、異常状態の場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。煙などがなくなるのを確認したのち、ただちに販売店に連絡して下さい。</p>
	<p>万一、装置の内部に水、金属類などの異物が入ってしまった場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せずただちに販売店に連絡して下さい。</p>
	<p>万一、装置を落としたり、カバーなどを破損した場合には、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せず、ただちに販売店に連絡して下さい。</p>

 警告



装置から液体が漏れ出している場合は、装置に触れない。失明や火傷などの事故の原因となります。特に、液体が目に入ってしまった場合は多量の水道水でただちに患部を洗浄し、至急医師の診断を受けて下さい。

また、液体に触れた場合や液体が染みた衣服などに触れた場合でも水道水でただちに洗浄し、医師の診断を受けて下さい。なお、これに併せてただちに販売店に連絡して下さい。



引火性のガスや発火性の物質がある場所では使用しない。火災、爆発の原因となります。



装置のカバー、キャビネットを外さない。感電の原因となります。
内部の点検、整備や修理は販売店にご依頼下さい。



装置を分解、改造しない。火災や感電の原因となります。



表示された電源電圧で使用する。火災や感電の原因となります。

 警告



風呂場、雨や雪が降っている屋外、その他水がかかるところ、湿気の多いところでは使用しない。感電の原因となります。



露の付いた状態で使用しない。感電の原因となります。



ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを装置の下敷きにしない。ケーブルが傷ついて火災や感電の原因となります。



ケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など）、すぐに使用を止め、販売店に交換を依頼する。火災や感電の原因となります。



ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、折り曲げたりしない。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、装置や接続されたケーブルなどに触れない。感電の原因となります。



注意



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。感電の原因となる場合があります。



装置を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。



ケーブルを着脱するときは、プラグ部分を持って行う。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。



ほこりの多い場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。
電源プラグや接続部にほこりが付着している場合は取り除いて使用して下さい。



注意



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。



濡れた手でACアダプタ、電源プラグやケーブルを抜き差ししない。感電の原因となる場合があります。



使用中に本機の特にLEDライトが熱く感じる場合がありますが、これは部品の放熱によるもので、異常ではありません。正常な状態でも、LEDライトの表面温度が約60度まで上がる場合がありますので、やけどにご注意ください。

安全にお使いいただくために



クローバー10 を初めてお使いになる前に、バッテリーを充電してください。詳細につきましては、「充電の方法」をご参照ください。



必ず、摂氏 10～35℃の環境でご使用ください。



本体を、濡れた場所、雨、その他の液体から離してご使用ください。また、水の中に入れてください。



自分で修理しないでください。権限なしに修理を行うと、製品保証が適用されなくなります。修理の際は販売元または販売店へご連絡ください。



充電するときには、必ず、付属の AC アダプターをご使用ください。

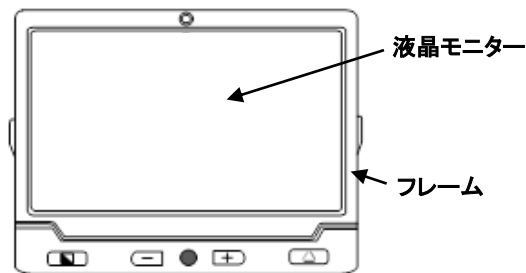
液晶モニターに関するご注意

液晶モニターは、衝撃、圧迫、落下などで強い力が加わると割れることがあります。取り扱いには十分注意してください。

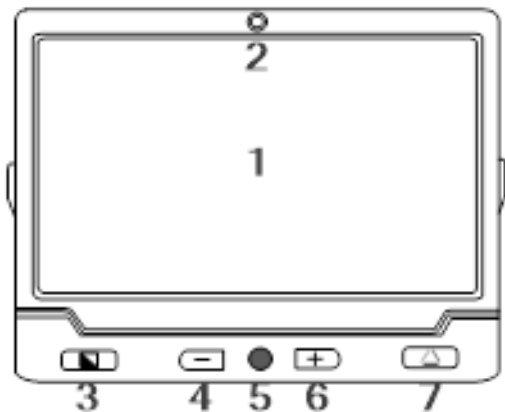
なお、上記の原因による割れやキズは、保証期間中でも有償修理となります。

また、液晶モニターが割れた場合は、モニター部や内部から漏れた液体には絶対に触らないでください。

液晶モニターの周囲のフレームに強い力が加わった場合も、液晶モニターが割れることがありますので、ご注意ください。

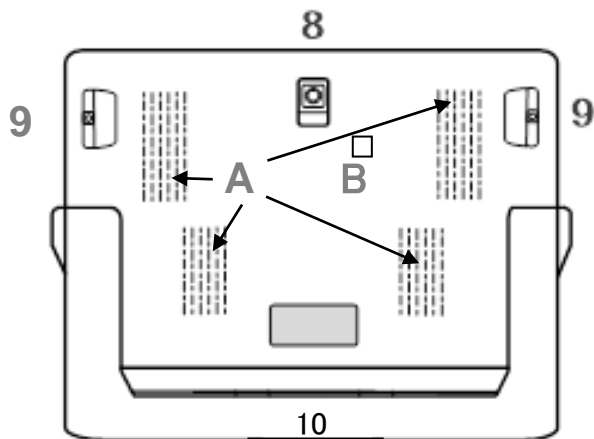


各部の名称



1. 液晶モニター
2. 前面カメラ
3. ハイコントラスト
モードボタン
4. 縮小ボタン
5. 操作レバー
6. 拡大ボタン
7. フルカラーボタン

※操作レバーは、機能上、隙間が大きく開いています。液体の侵入や、ゴミ、埃などが詰まると故障の原因になりますので、注意してください。



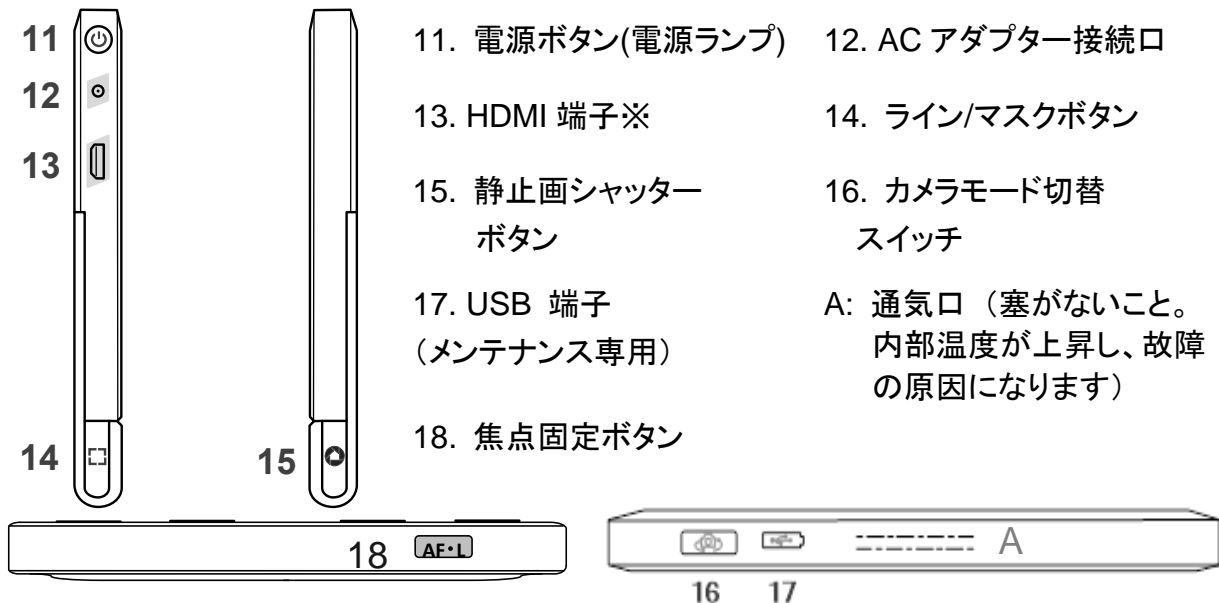
A. 通気口（塞がないこと。内部温度が上昇し、故障の原因になります。）

B. オートフォーカスセンサー（背面に埋め込まれている部品はオートフォーカス(AF)センサーです。センサーを覆ってしまわないように注意してください。）

8. 背面カメラ

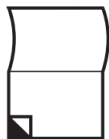
9. LED ライト

10. スタンド

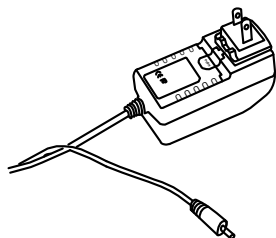


※接続するモニターにより、本機からの映像信号が認識されず、モニター側で画像が表示されない場合や、正常に表示されない場合があります。

付属品



取扱説明書



AC アダプター



専用ケース



クリーニングクロス



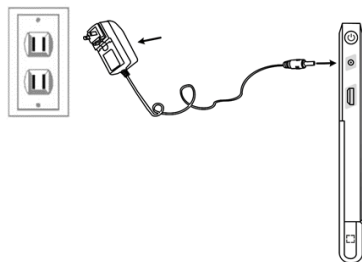
簡単マニュアル



保証書・ユーザー登録用紙

充電の方法

1. 付属の AC アダプターのケーブルを本体の AC アダプター接続口に接続してください。
2. AC アダプターをコンセントへ差し込むと、電源ランプが緑色に点灯し充電が始まります。
3. 充電が完了すると、電源ランプが自動的に消灯します。フル充電には、約 5 時間かかります。連続使用時間は、約 4 時間です。



充電時の注意: 充電には必ず付属の AC アダプターを使用してください。他の AC アダプターは、充電池や本機を傷める可能性があり、最悪の場合発火する危険性があります。充電中は、ケーブルに引っかかったりしないように注意をお願いいたします。又、充電しながらの使用は可能ですが、AC アダプターのケーブルが引っ張られての断線、AC アダプター接続口の破損などのリスクや、充電しながらの使用を繰り返すことで、バッテリーに負担がかかり、バッテリーの寿命が短くなることが予想されます。

充電をしながら使用する際は、これらのことを踏まえて、十分に注意をお願いいたします。

電源ランプの表示

- 電源がオフの状態で充電すると、電源ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、電源ランプが自動的に消灯します。
- 電源がオンの状態で充電しても、電源ランプは緑色に点灯します。
- 本体の充電をしない状態でオンにした時、バッテリーの残量が十分ある時は緑色に点灯し、残量が少なくなると赤色に変わります。電源ランプが赤色に点滅、及びバッテリー残量マークが点灯しはじめたら、充電してください。
- バッテリーの残量は、電源ボタンを押すことでも確認することができます。

※バッテリーの残量が少なくなると、バッテリーを多く使用する機能（画像の保存など）が使用できなくなることがあります。
バッテリーの残量表示が0に近づくと、電源ランプが点滅し続け、バッテリー残量表示も表示されたままになります。

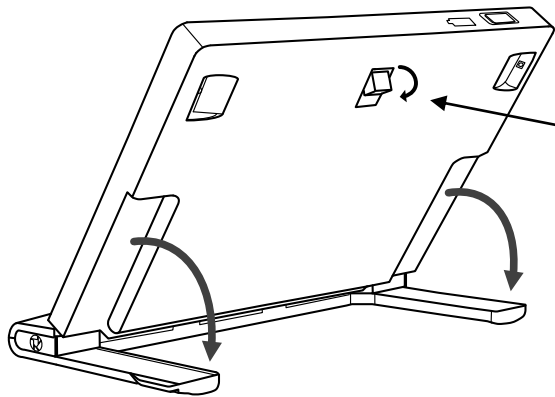
スタンド

次の図のようにスタンドを立ててください。人間工学に基づいた角度で、長時間の読書が快適にできます。また、カメラの下に十分なスペースがあり、筆記も容易にできます。筆記する場合は焦点を固定することで筆記しやすくなります。焦点の固定方法は焦点固定ボタンの項目を参照ください。

背面カメラは、スタンドの状態によって自動的に回転します。これにより、読書モードと望遠モードでのご使用が可能です。

スタンドを立てる・・・読書モード




スタンドを閉じる・・・望遠モード



背面カメラ
※強く触らないように
注意してください。



操作方法

電源ボタン

- 電源をオンにするには、電源ボタン  を約3秒間長押ししてください。（画面の中央にロゴマークが出るまで押ししてください。）
電源をオフにするには、電源ボタン  を約2秒間長押ししてください。
- バッテリーの残量、静止画シャッターの状態、カメラの状態、電子音の状態を確認するには、本体がオンの状態で、電源ボタン  を短く押ししてください。状態を表す4種類のマークが表示され、約1秒後に自動的に消えます。

※使用中は、本体の左側の背面及び左右のLEDライトが熱くなることがありますので注意してください。これは異常ではなく、部品の放熱によるものです。LEDライトが点灯中は、本機が正常な状態でも、LEDライトの表面温度が60°C近くになることがありますので、やけどにご注意願います。


電子音のオン/オフ


- 電子音をオンまたはオフに切り替えるときは、電源ボタンを押した状態でフルカラーボタンを押してください。電子音がオンまたはオフに設定されたマークが表示され、約1秒後に消えます。

電子音の種類

- 本体の電源をオン/オフしたときの音
- ボタン操作の音
- 限界であることの音

カメラモードの切替

- 読書モードまたは望遠モードで使用するときは、カメラモード切替スイッチ  が左になっていることを確認してください。左になっていなければ、左にスライドさせてください。モードを表すマークが表示され、約1秒後に消えます。スタンドを立てたときは読書モード、閉じたときは望遠モードになります。

- ミラーモードで使用するときは、カメラモード切替スイッチ  を右にスライドさせてください。モードを表すマークが表示され、約 1 秒後に消えます。

読書モードでは、約 6cm～約 10m まで焦点が合います。
望遠モードでは、約 6cm～約 10m まで焦点が合います。
ミラーモードでは、約 7cm～約 2m まで焦点が合います。

拡大と縮小

- 拡大するには、拡大ボタン「十」を押してください。拡大レベルバーが表示され、画像が拡大します。拡大レベルバーは約2秒後



に消えます。拡大ボタン「十」を押し続けると、連続して拡大します。

- 縮小するには、縮小ボタン「一」を押してください。拡大レベルバーが表示され、画像が縮小します。拡大レベルバーは約2秒後に消えます。縮小ボタン「一」を押し続けると、連続して縮小します。

※画像の静止、または画像の再生時は、拡大・縮小しても拡大レベルバーは表示されません。

- スタンドを使用時の拡大倍率:
背面カメラ: 約2～約32倍
(本体を被写体から離れた場合は、さらに低倍率表示が可能です。)


画像のスクロール

- 画像を拡大表示しているとき、本体を動かさず、操作レバー  を使用して、画像を上下左右にスクロール(上下左右へ移動)することができます。
- スクロール速度は3段階で設定でき、操作レバー  を任意の方向に押しながら、拡大ボタン「十」を押す度に早く、又、縮小ボタ


ン「一」を押す度に遅くなります。倍率によっても速度は若干変わりますので、お好みにより速度を設定してください。

- 速度設定中は、画面にスクロール速度バーが表示されます。




- 拡大ボタン「十」と縮小ボタン「一」を同時に押すと、スクロールされた画像が元の中央の画像表示に戻ります。
※2つのボタンを押すタイミングが少しずれると、拡大レベルバーが表示される場合があります。
- 操作レバー  を同一方向に2回すばやく押すと、開始/終了位置に移動します。

焦点の調節

本機はオートフォーカスのため、常に自動で焦点を調整しますが、焦点が合いにくい等の場合は、焦点固定ボタン  を約2秒長押しすると、焦点が合います。

カラーモード

カラーモードはあらかじめ組み合わされた所定の色の組み合わせです。フルカラーモードは写真や地図の表示に適しています。ハイコントラストモードは前景と背景が異なる色から成り、文字を鮮明に読むことができます。

- ハイコントラストモードボタン  を押すと、ハイコントラストモードが順に表示されます。


ハイコントラストモード初期設定一覧(3種類のモード)

黒背景に白文字






白背景に黒文字

黒背景に黄文字

※ボタンを押した後は、すぐに指を離してください。長押しすると、反応しない場合があります。

- フルカラーボタン  を押すと、フルカラー表示になります。

※ボタンを押した後は、すぐに指を離してください。長押しすると、反応しない場合があります。

- ハイコントラストモードボタンを約3秒間長押しすると、お好みカラー選択の設定画面になります。
- 設定を変更するには、操作レバーで選択したい色の組み合わせを選んで、フルカラーボタンを押すことで有効/無効の切り替えができます。
- 約8秒間上記の操作をしないか、電源ボタンを短く押すか、ハイコントラストモードボタンを長押しすると、お好みカラー選択の設定画面が閉じます。

ハイコントラストモード一覧(16種類のモード)



黒背景に白文字



黒背景に黄文字



青背景に白文字



青背景に黄文字



黒背景に緑文字



黒背景に紫文字



黒背景に青文字



赤背景に白文字



白背景に黒文字



黄背景に黒文字



白背景に青文字



黄背景に青文字



緑背景に黒文字



紫背景に黒文字




青背景に黒文字



黒背景に赤文字

コントラスト

- ハイコントラストモードボタンを押しながら拡大ボタン
+または縮小ボタン-を押してコントラストを調節することができます。
- コントラスト変更時には下図の調整バーが表示されます。



ハイコントラストモードの調整バー



フルカラーモードの調整バー

- 表示される調整バーはフルカラーモード、ハイコントラストモードのそれぞれで異なります。
- コントラスト調整は以下の2種類のコントラストモードグループに分かれ、それぞれ調整可能です。一方のコントラストモードグループで調整したコントラストは、もう一方のグループには反映されませんので、ご注意ください。

□ コントラストモードグループについては、以下をご参照ください。

● コントラストモードグループ①

背景が黒か青か赤の場合。

黒背景に白文字、黒背景に黄文字、青背景に白文字、青背景に黄文字、黒背景に緑文字、黒背景に紫文字、黒背景に青文字、赤背景に白文字、黒背景に赤文字。

● コントラストモードグループ②

文字が黒か青の場合。

白背景に黒文字、黄背景に黒文字、白背景に青文字、黄背景に青文字、緑背景に黒文字、紫背景に黒文字、青背景に黒文字。


明るさ

フルカラーでもハイコントラストモードでも明るさを調整することができます。







以下の操作をすると画面中央に明るさ調整バーが表示されます。



- 明るくするには、電源ボタン $\text{\textcircled{I}}$ を押しながら拡大ボタン「+」を押してください。
- 暗くするには、電源ボタン $\text{\textcircled{I}}$ を押しながら縮小ボタン「-」を押してください。
- 明るさ調整バーは、操作終了後、約2秒後に消えます。




- 電源ボタンを押してから約2秒以内に拡大ボタン「+」または縮小ボタン「-」の操作をしないと、電源が切れます。

ライト

- LED ライトが点灯している時に、電源ボタンを押しながら静止画シャッターボタンを1度押すと、画面の左右の上側にLEDライトの消灯マークが約2秒表示され、LED ライトを消灯することができます。LED ライトが消灯している時に同じ操作をすると、画面の左右の上側にLEDライトの点灯マークが約2秒表示され、LED ライトが点灯します。
携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの画面を見るときは、消

灯させるほうが見やすくなる場合があります。状況に応じて設定してください。

- 電源ボタンを押しながら焦点固定ボタン AF•L を押すと、左右のLEDライトを交互に点灯、消灯することができます。操作をする前のLEDライトが点灯しているか、消灯しているかにより、上記の操作を行うことで、LEDライトは以下のように切り替わります。
LEDライトが点灯している状態で操作した場合、
右のみ点灯→左のみ点灯→両方点灯→以後、この繰り返し。
LEDライトが消灯している状態で操作した場合、
左のみ点灯→右のみ点灯→両方消灯→以後、この繰り返し。

- 電源ボタン  を押してから約3秒以内に静止画シャッターボタン 、もしくは、焦点固定ボタン  の操作をしないと、電源が切れます。
- 読書モードと望遠モードを切り替えた場合や、電源を一度切ってから電源を入れ直した場合は、LEDライトの設定はリセットされます。

※LED ライトは、望遠モードにすると自動的に消え、読書モードにすると自動的に点灯します。ミラーモードでは LED ライトは点灯しません。


※LEDライトが点灯中は、本機が正常な状態でも、LEDライトの表面温度が60°C近くになることがありますので、やけどにご注意願います。


焦点固定ボタン



- 焦点固定ボタン **AF・L** を押すと画面の四隅に「**L**」が表示され、焦点が固定されます。この機能は特に筆記の際にペン先に焦点を固定するのに便利です。
- もう一度焦点固定ボタン **AF・L** を押すと、焦点固定が解除されます。

画像の静止





じっくり見たいときには、画像を静止させることができます。静止画は、読みやすいように拡大、縮小、カラーモードの変更、画像のスクロールができます。


- 静止画シャッターボタン  を押すと、映像が静止し、鍵のかかったマークが表示され、約 1 秒後に消えます。

※静止画シャッターボタン  を操作する場合は、本体が動きますので、左手で軽く本体を押さえて操作してください。また、ボタン操作後は、すぐに指を離してください。静止画シャッターボタンを3秒以上長押しすると、画像が保存されます。画像の保存については画像の保存の項目をご参照ください。

- 静止画状態を解除するには、静止画シャッターボタン  をもう一度押してください。解除された鍵のマークが表示され、約 1 秒後に消えます。
- 画像を拡大表示しているとき、本体を動かさず、操作レバー  を使用して、画像を左右、上下にスクロールすることができます。
※スクロールの使用につきましては、画像のスクロールの項目をご参照ください。
- 画像を最大まで拡大して静止させると、さらに拡大して表示できます。

画像の保存

- 表示されている画像を保存するには、静止画シャッターボタン  を約3秒間長押ししてください。画像を保存したマーク  が約1秒表示されます。画像は、約 1000 枚まで保存できます。静止画状態からも静止画シャッターボタン  を約3秒以上長押しすると画像が保存できます。保存後は画面が静止画状態になります。静止画を解除するには静止画シャッターボタン  を押します。







注意：保存した画像の容量が最大容量（約 1000 枚）に達した場合に容量不足マーク  が表示されます。保存した画像を再生モードでいくつか削除してから新しい画像を保存してください。

(保存した画像の削除方法については、画像の再生の項目をご参照ください。)

保存した画像データの消失について

取扱上の不備や本機の故障、あるいは修理によって、保存された画像データが消失することがあります。保存された画像データの消失による損害については、販売店、販売元及び製造元は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



画像の再生

- フルカラーボタン  を約3秒間長押しすると、再生モードに入り画像の選択画面になります。もう一度同じ操作をすると、再生モードを終了します。
- 画像選択画面から操作レバー  を使って、保存した画像から再生したい画像を選択してください。5枚以上保存画像がある場合は、操作レバー  で下にスクロールして選択してください。保存画像が多数ある場合のスクロールは、操作レバー  を下方向又は上方向に約3秒長押しをすると、スクロールが素早くできます。静止画シャッターボタン  又は、フルカラーボタン  を押



すと、選択した画像が表示されます。「画像の静止」の章にある同じ機能(拡大、縮小、カラーモードの変更、拡大表示中のスクロール)を使って画像を表示することができます。

- 一番新しい保存画像を再生中に電源ボタンを押すと、画面下側に枚数表示と右側に進むマーク▶が表示されます。拡大ボタン「+」押すと次の画像が表示されます。次の画像が表示されると、左側に戻るマーク◀が表示され、縮小ボタン「-」を押すと前の画像に戻ります。約5秒間ボタン操作しないか、電源ボタン⏻を押すと枚数表等が消えます。
- なお、一番新しい保存画像では戻るマーク◀は表示されず、一番古い保存画像では進むマーク▶は表示されません。保存

画像が1枚しかない場合は、どちらのマークも表示されません。



- 画像選択画面に戻るには、静止画シャッターボタン  を押します。
- 画像選択画面を終了するには、フルカラーボタン  を約3秒長押しします。





画像の削除


- 画像を削除するには、保存した画像を選択する画面を表示し、操作レバー  で削除したい画像を選択し、ライン/マスクボタン  を押してください。選択した画像上にごみ箱マークが表示されま

す。もう一度、ライン/マスクボタン \square を押すと画像が削除されます。別のボタンを押すと削除はキャンセルされ、ごみ箱マークが消えます。

- すべての画像を削除するには、保存した画像を選択する画面を表示し、ライン/マスクボタン \square を約3秒間、長押ししてください。画面の真ん中に大きなごみ箱マークが表示されます。もう一度、ライン/マスクボタン \square を押すとすべての画像が削除されます。
- ライン/マスクボタン以外のボタンを押すと削除はキャンセルされ、ごみ箱マークが消えます。
- 複数の画像を選択し削除するには、保存した画像を選択する画面から静止画シャッターボタン \odot を約3秒長押しすると、複数画像選択機能が作動します。もう一度静止画シャッターボタン \odot を

約3秒長押しするか、フルカラーボタン  を約3秒長押しするか、電源ボタン  を短く押すと、複数画像選択機能を終了します。

- 複数画像選択機能が作動すると、それぞれの画像の右下に小さなボックスが表示されます。選択したい画像を操作レバー  で選び、フルカラーボタン  を押すと画像が選択され、ボックスにチェックが入ります。選択をキャンセルする場合は、再度、フルカラーボタン  を押すとチェックが外れます。選択する画像が多数ある場合は、操作レバー  を下方向又は上方向に約3秒長押しをすると、スクロールが素早くできます。

- ライン/マスクボタン「

52

ラインとマスク



ライン/マスクボタン $\left[\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \right]$ を押すと、読書用のラインモードやマスクモードに切り替わります。



ラインとマスクは、動画、静止画、保存画像の再生に使用できます。



※ライン/マスクボタン $\left[\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \right]$ を操作する場合は、本体が動きますので、右手で軽く本体を押さえて操作してください。また、ボタン操作後は、すぐに指を離してください。長押しすると位置表示機能が作動します。位置表示については、位置表示の項目をご参照ください。



ライン/マスクボタン $\left[\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \right]$ を押すごとに、以下の順序で切り替わります。



- 横ライン
- 縦ライン
- 横マスク
- 縦マスク
- 通常表示(ラインやマスクなし)

□ ライン/マスクボタン「」を押しながら、操作レバー  を操作することで、読書用ラインやマスクの位置や幅が変更できます。

横ライン・・・操作レバー  の上下の操作で、ラインが移動できます。操作レバー  の左右の操作で、ラインの幅が変更できます。


縦ライン・・・操作レバー  の左右の操作で、ラインが移動できます。操作レバー  の上下の操作で、ラインの幅が変更できます。



横マスク・・・操作レバー  の上下の操作で、マスクが移動できます。操作レバー  の左右の操作で、マスクの幅が変更できます。

縦マスク・・・操作レバー  の左右の操作で、マスクが移動できます。操作レバー  の上下の操作で、マスクの幅が変更できます。



位置表示

位置表示機能を使うと、最小倍率で表示され、読みたい箇所を探すのに便利です。

- 拡大表示中にライン/マスクボタン「」を長押しすると、画像は現在の倍率から最少の倍率になり、拡大された画像の位置を表す位置ボックスが表示されます。

- 位置ボックスは、操作レバー  を使って移動させることができ、拡大したい箇所に位置ボックスを合わせます。
- ライン/マスクボタン「」を押すと、以前の倍率で表示されます。

たとえば、ある倍率で地図を見ている、同じ倍率で別の所を見たいときに便利な機能です。



- 位置ボックス表示中に拡大ボタン「」と縮小ボタン「」を同時に押すと、位置ボックスは画面の中央に移動します。

メモリ機能





通常操作で電源が切られた場合、使用モード、拡大倍率、電子音などの直近の設定を自動的に記憶し、次に電源を入れた時に同じ設定を保持しています。

周波数(50Hz/60Hz)切替機能

電燈の下で使用する際に、お使いになられる地域の電力環境により、画面上にちらつきやゆらめきが見えることがあります。ちらつきやゆらめきが気になる場合は、周波数の設定を切り替えることで軽減できることがあります。



電源ボタン  とハイコントラストモードボタン  を約3秒間長押しすると、周波数が切り替わり、周波数の数値が画面に約2秒間表示されます。

省電力機能

- 約3分間操作が何も行われず、本体も動かされない場合、節電するために自動的に電源が切れます(初期設定)。省電力機能をオフにするには、電源ボタン  を押した状態でハイコントラストモードボタン  を軽く押ししてください。省電力機能がオフに設定されたマーク  が表示されます。もう一度、電源ボタン  を押した




状態でハイコントラストモードボタンを軽く押すと、省電力機能がオンに設定されたマークが表示されます。

初期設定へ戻す

初期設定に戻すとは、購入時の状態(初期設定)に戻すことです。ただし、画像が保存されている場合、画像は削除されません。電源が入っている状態で、静止画シャッターボタン  とライン/マスクボタン  を同時に電源が切れるまで(約3秒間)長押しすると、再度電源を入れたときに初期設定に戻っています。

初期設定は、倍率:最小、使用モード:フルカラー、明るさ:最大、電子音:オン、ハイコントラストモード:黒背景に白文字、白背景に黒文字、黒背景に黄色文字、周波数:60Hz、省電力機能:オン、スクロール速度:標準です。

本体のリセット

動作不良(電源が切れないなど)になった場合、電源ボタンと静止画シャッターボタンとフルカラーボタンを同時に押してください。電源が切れ、本体がリセットされます。

故障かな？と思ったら



電源が入らない

- AC アダプターを接続してください。
- バッテリーを充電してください。

画面が黒い、または、白い

- 本体が平らな表面に置かれている場合、画面が黒または白になる場合があります。そのときは、本体を持ち上げて、画面が変わるかどうか確認してください。
- 拡大レベルを調節してください。
- 使用モードを調節してください。
- 本体を再起動してください。
- 本体をリセットしてください。


画像が変わらない

- 本体が画像の静止、または、画像の再生になっている場合、画像は変わりません。画像の静止を解除するには、静止画シャッターボタン  を押してください。画像の再生を終了するには、フルカラーボタン  を約3秒間、長押ししてください。
- 本体を再起動してください。
- 本体をリセットしてください。

画面にしみやごみのようなものが映る

- 明るさを調節してください。
- 電源を切り、スタンドを閉じて、液晶モニターとカメラをクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

ピントが合わない

- 焦点固定ボタン  を長押しし、フォーカスが合うか確認してください。
- カメラが指紋などで汚れていないか確認してください。カメラが汚れている場合は、電源を切り、スタンドを閉じてからカメラをクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

問題が解決しない場合は、お近くの販売店または販売元に、ご相談ください。

製品仕様

- **モニター:** 10 インチ LCD、HD / 解像度:1280 x 800 ピクセル
- **カメラ**
(前面/背面): オートフォーカス、フル HD
画素数:1300 万画素 / 解像度:1920 x 1080 ピクセル
- **寸法、重さ** 約 251 x 203 x 22 mm 、 約 700 g
- **カラーモード:** フルカラーモード、最大 16 種類のハイコントラストモード

- **倍率:** 約 2~約 32 倍
- **バッテリー:** 連続使用時間: 約 4 時間(画面の明るさ設定や使用環境などにより異なります)
(リチウムイオン) 充電時間: 約 5 時間(フル充電まで)
- **AC アダプター:** 入力: 110-240V、出力: 5V/3A
- **HDMI 出力:** 1080p

お客様相談室

フリーダイヤル： 0120-886-610

受付時間： 平日 9:00～12:00
13:00～17:30（土曜・日曜・祝日は休み）

製造元： Sightcare Technology CO., LTD

輸入販売元： 株式会社 システムギアビジョン

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL: 0797-74-2206 FAX: 0797-73-8894

URL: <http://www.sgv.co.jp>

E-Mail: sgv-info@systemgear.com